

霞ヶ浦医療センターを受診された患者様へ

- * 当院では、下記の臨床研究を実施しております。
- * 研究は全て当院倫理審査委員会の審査を受け、病院長の許可を受けております。
- * 本研究の対象者に該当する可能性がある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合、また質問等おありになる場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。
- * 診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合においても、皆様の病院サービスご利用について不利益が生じることは全くございません。
- * 研究はあくまで日常診療から集積される診療情報を利用するものであり、新たに患者の皆様に何らかの負担が生じることはございませんので、ご安心ください。

研究課題名（承認番号）	非小細胞肺癌に対するマルチプレックス遺伝子検査の実態調査研究 TORG2543（2025-19）
研究責任者の氏名（部門）	菊池 教大（呼吸器内科）
研究の対象者（研究対象期間）	非小細胞肺癌（切除及び根治照射不能Ⅲ期、Ⅳ期もしくは術後再発）と診断され、2021年1月1日から2024年12月31日までの期間で進行・再発としての1次治療開始前にマルチプレックス遺伝子検査を保険診療下で行った患者さん
研究の目的	進行・再発非小細胞肺癌に対して実地臨床でマルチプレックス遺伝子検査を実施した患者さんを対象に遺伝子変異/転座の陽性頻度と陽性者の患者背景、各種分子標的治療薬等の投与状況及び治療効果に関するデータを収集し、実態を調査することを目的としています。
研究の方法	カルテ上の情報を収集し、解析を行います。新たに検査はおこないません。
研究に使用される診療情報項目	○患者背景に関する情報 生年月、性別、日常生活動作制限の程度（ECOG Performance status）、がんの組織型、病期、喫煙歴、間質性肺炎患の合併の有無 ○腫瘍因子 生検方法、生検実施日、検体の種類、生検臓器、免疫染色、マルチプレックス遺伝子検査、マルチプレックス遺伝子検査の結果判明日、遺伝子変異/転座結果、シングルプレックス遺伝子検査の実施の有無と検査方法、シングルプレックス遺伝子検査結果、CGP検査の実施、CGP検査結果 ○治療 薬物治療の実施状況の確認、標的治療の実施 ○治療詳細 治療ライン、治療レジメン、治療開始日、最良総合効果、増悪日もしくは最終無増悪確認日、最終投与日もしくは最終継続確認日、増悪の有無、治療中止の有無、中止理由、減量の有無/中止に至った有害事象の種類 ○生存に関わる因子 死亡日もしくは最終生存確認日、死亡の有無
個人情報の保護について	本研究に関する情報は、氏名や診療ID等の直接的に個人を特定できる情報を使用せずに登録番号を付与して管理します。対応表は施錠可能な保管庫に管理し、保管期間終了後は破棄します。
共同研究機関の有無（名称、責任者氏名）	有（国立病院機構北海道がんセンター 水柿 秀紀）
備考	2026年2月28日までに研究責任者あて、ご連絡ください。 ご連絡がなかった場合、ご了承いただいたものといたします。ご了解されない場合でも不利益を受けることはありません。なお、すでに解析に使用された情報は研究データから情報を削除できない場合がございますので、ご了承ください。